

第9回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
			<p>本日は、歩行者デッキの屋根や市バス方転場跡地に建設予定の新駅前ビル、駅前交番を反映した3D画像を見ていただいた上で、歩行者デッキのルートについて議論いただきたい。</p>
			<p>デッキの形状としては、「景観」などに配慮し、12街区や西側自由通路、バス乗降場との接続やJRと山陽電鉄の乗り換えの利便性を考慮するとともに、A案とB案のそれぞれの課題を考慮し、大きく弧を描くデザインD案とするなども可能であると考えます。</p>
	歩行者デッキについて	<p>中央コンコース前における歩行者デッキへの昇降施設はどこになるのか。姫路城への眺望を確保できるように、昇降施設の位置などを工夫する必要がある。また、展望デッキや新駅ビルなど周辺施設との接続はどのようなになっているのか。</p>	<p>⇒ 中央コンコース前の歩行者デッキへの昇降施設としては、エスカレーター等を考えている。また、2Fレベルの動線として、展望デッキから、新駅ビルを介してコアゾーンへ接続する動線の必要性については、認識している。詳細については、今後関係機関と協議し、検討していく。</p>
<p>バス乗降場の交通島へのアクセスの方法や交通島の利用者数について教えてもらいたい。交通島へ行くのに車道を横断する人が多いのではないかと。また、歩行者デッキの屋根については、姫路らしいデザインとすべきである。</p>		<p>⇒ 交通島へのアクセスは、エスカレーターなどの昇降施設を考えている。また、地表部での車道の横断については、関係機関などと協議していきたい。まず、歩行者デッキのルートを決めてから、デザインについては検討していく。</p>	
<p>歩道橋を造っても使われていないものがあるが、実際どの程度使われるのか。 ↓ 歩道橋と歩行者デッキでは位置づけが違うが、歩道橋については、利用されずに撤去されたものもある。バリアフリーに配慮し、利用目的を明確にすれば、利用頻度も多くなるのではないかと。</p>			
<p>D案は、A案とB案のそれぞれの課題を改良しているので、良いと思う。</p>			

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)		市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	
	歩行者デッキについて	景観や利便性の点からB案が良いと思っていたが、D案はよく考えられた案だと思う。駅前の計画は「百年の計」であるため、デッキを計画する際には、景観に対し十分に配慮してもらいたい。			
		歩行者デッキへのエスカレーターなどの昇降施設の位置・向きによって、アクセスのしやすさがまったく違ったものになる。	⇒	歩行者デッキにはエスカレーターを設置する方向で検討している。昇降施設の位置やデッキの形状については、今後検討していく。	
		今後、2Fレベルの動線を検討する必要がある。歩行者デッキの目的を明確にし、利用者の利便性を考慮すべきである。	⇒	2Fレベルの動線については、コアゾーンや新駅ビルも含め、今後検討していく。	
		B案とD案の融合案が良い。 A案は、デッキがあることで、中央コンコース前から西方面を見渡せなくなるとともに、お城からの景観に対しても良くない。 D案の形状はなだらかな曲線であり、やわらかさとおもてなしを演出できているところが良い。 歩行者デッキの形状として、倉敷駅の北口のデッキのように、幅員のある人工地盤のようなものも良い。人工地盤は、地表部が暗くなるという欠点があるが、吹き抜けを設けることで解消できる。			
		B案を基本として、動く歩道を整備するのが良い。B案の長所として、デッキが高架と平行に配置されているため、西側から駅方面へ向かう地表部の歩行者にとって、雨をしのげる庇にもなる。また、B案は、モニュメントを配置しやすい案なのではないか。 A案は、姫路城からみたとき圧迫感があるのでよくない。	⇒	動く歩道の整備については、コストや安全面から、難しいと考える。	
		B案またはD案を基本にして、今後、景観に配慮して検討を進めるのが良い。			

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	歩行者デッキについて	<p>観光客等のウェルカムゾーンとして、姫路城を見渡すことの出来る展望デッキを配置してもらいたい。</p> <p>駅西地区へ最短距離で結ぶ全天候型の歩行者デッキを設置してもらいたい。</p> <p>鉄道、バス・タクシー乗降場などの公共交通への効率的なアクセスを確保してもらいたい。</p>	<p>展望デッキの必要性については認識しており、形状などの詳細については、今後検討していく。</p> <p>歩行者デッキのルートについて、本日議論いただきたい。</p> <p>公共交通への効率的なアクセスについては、ユニバーサルデザインを基本として、今後検討していく。</p>
	その他について	<p>現在のバス乗降場の形状では、バスの運行や交通島へのアクセスが難しい。バス事業者として、形状を考えると、今後その形状をベースにして、デッキや地下からのアクセスについて検討していただきたい。</p> <p>駅西地区へ接続する既設の地下通路については、安全で快適なものとなるように再整備してもらいたい。</p> <p>駅前広場北側の現在神姫バスの方転場として使っている場所について、バス乗降場として使うことは出来ないのか。</p> <p>↓</p> <p>現在、バスの方転場として自社の土地を使っているが、区画整理事業では、駅前広場内に交通機能を確保することとしているため、自社の土地を使うことは考えていない。</p>	<p>⇒</p> <p>バス乗降場については、中央コンコース前の空間を確保することを前提に、形状の変更で対応したいと考えている。</p> <p>12 街区の高度利用について、説明をしてもらいたいとの要望があったため、改めて説明を行う。</p> <p>12 街区については、1 階部分を一般車乗降場とバス乗降場の一部として利用することとした。12 街区は、駅前の一等地であることから、基本的には高度利用を考えており、今年度は西側半分の鉄運機構の土地を都市開発整備事業会計で一時的に取得し、一定の条件を付けて民間事業者などに売却する予定である。</p> <p>⇒</p> <p>駅西への既設の地下通路を有効活用していきたい。</p> <p>⇒</p> <p>駅前広場と 12 街区の区域内で配置したい。</p>

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	その他 について	山陽百貨店などのビルは、昭和30年代に建設されており、耐震補強をする必要があるが、ビルの建て替えについては、山陽電鉄や山陽百貨店と協議をしているところである。	⇐ 駅前広場北側の現在神姫バスの方転場として使っている場所に建物を建てる予定はあるのか
駅西地区の住民がタクシーを利用する際の利便性は確保されているのか。 ↓ 駅西地区の住民にとっては、タクシー乗降場が西側に配置されたことで、現在の位置よりもアクセスがしやすくなるのではないか。			
新駅前ビルについては、地下街があるから、3階建てしか建てられないとのことであった。駅前の他の建物と調和を図るという観点から、地下街の無い部分で高度利用を図り、地下のある箇所を空地として確保するのも良いのではないか。 JR西日本や(株)姫路駅ビルには、ビルの計画をこの場で提示してもらいたい。		⇒ 新駅前ビルは民間の建物であるので、経済状況などの点から、規模などについて、要望することは難しいと考える。デザインについては、デザインコンセプトに合ったものとなるように要望している。 ↓ デザインコンセプトと整合を図るよう考えている。	
		本日いただいた意見を検証するとともに、D案をベースとした案を3D画像により提示したい。 次回は12月に開催したい。	